

第3次山形県総合発展計画（長期構想）における男女共同参画の位置づけ

1 第3次山形県総合発展計画（長期構想）について

○ 計画期間：策定（平成22年3月）から概ね10ヵ年

○ 基本目標：「緑と心が豊かに奏であい 一人ひとりが輝く山形」

*この緑と心との関わり合いをもとに、未来を拓く新たな可能性を皆で創り出すこと、そして誰もが自分らしさを発揮しながら、生き活きと輝く山形を創り上げていくことを目指します。

2 男女共同参画の位置づけ

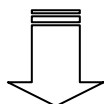
○ 県づくり構想の3つの柱

暮らし

地域社会

産業・経済

安心が根付き、楽しさや充実感のある「暮らし」の実現



○ 展開方向

- 1 子どもを生き育てる地域の総合力の再生・強化
- 2 未来の礎となる教育や人づくりの推進と多様な自己実現の促進
- 3 暮らしを支える公的基盤の確立
- 4 地域課題の解決や地域活性化を図る地域ビジネスの創出・振興

① 学校におけるきめ細かな教育の推進

② 学校と家庭・地域との連携による教育力の向上

③ 県民一人ひとりの能力発揮と社会への還元

- ・性別、年齢、障がいの有無などに関わらず、誰もが自らの能力を向上、発揮できる機会を充実します。
- ・仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）を図る取組みを推進します。
- ・文化・芸術活動や国際交流活動の促進、スポーツの振興を図ります。